

令和2年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

1 一人一人の児童生徒の尊重	2 友達への思いやり	3 道徳・心の教育の充実
<p>学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。</p>	<p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p>
<p>【学校から】[1]学校の取り組みは保護者の方々の理解を概ね得られているものの、保護者の肯定的評価の割合が昨年度よりも2%ほど下がっている。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で学校の様子を見てもらう機会が少なかったため、学校の取り組みが十分伝わっていないことも考えられる。今後も、心のアンケート、児童との教育相談、人権教育の取り組み等を通して、児童一人一人が安心して学習や生活ができる環境づくりに努める。[2]児童の肯定的評価の割合が昨年度よりも2%程増加しているの、児童間のちょっとしたトラブルが減り、児童同士の交友関係はさらに良好になっていると解釈できるが、職員全体で今後も注視していく。[3]教職員、保護者ともに、概ね肯定的な結果となっているが、保護者の肯定的評価の割合が昨年度よりも2%ほど下がっている。道徳の公開授業を例年通りの形で実施できていないことも影響している。今後も教育活動全体で道徳教育の充実を図るとともに、さらに家庭との連携、協力を努めたい。</p>		

②確かな学力を育む教育の推進

4 意欲的な学習態度	5 授業力向上	6 ICT活用
<p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
<p>【学校から】[4]教職員、児童、保護者ともに昨年度とほぼ変わりなかった。これは新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休業が影響していることも考えられる。今後は、学習内容の理解に時間がかかる児童に対して、個に応じた指導を更に推進し、意欲付けに努めていく。[5]保護者の肯定的評価の割合が昨年度よりも7%程減少している。ICTの活用に対して高評価を得ていることを考慮すると、保護者は児童が授業内容を十分に理解できていないのではないかと捉えている。児童の評価があまり変わらないことを考えると、授業参観等で授業の様子を見る機会が少なかったことも考えられる。今後はICTも活用し、保護者へ学校の取り組みを発信していくとともに、児童が授業内容を十分理解できるよう、わかりやすい授業づくりに努める。[6]児童の肯定的な評価が6%程増加している。これは授業でタブレットや電子黒板などICT機器をよく活用していると評価できる。今後は一人一台のタブレットが実現するので、家庭学習でもタブレットの効果的な活用を努めていきたい。</p>		

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり	<p>子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p> <p>【学校から】教職員、児童の肯定的な評価がかなり下がっている。新型コロナウイルス感染症の影響で外に出歩くことが制限されていること、臨時休業の影響で基本的な生活習慣が十分出来なかったことが考えられる。今後学校では、給食指導とのリンクを基にした食育をさらに推進し、体育の授業や休み時間等を利用して出来る限りの体力の増進に努めていく。また、これまでも行ってきたが、朝食、睡眠時間の確保、メディアと接する時間を取り過ぎないことなど、保健日より等で啓発し、懇談会や面談等で、保護者に家庭の様子を聞きながら連携を図っていきたい。</p>	
---------	---	--

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

8 児童生徒理解	9 いじめや問題への対応
<p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p>	<p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>

②特別支援教育の推進

10 学校の支援体制
<p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>

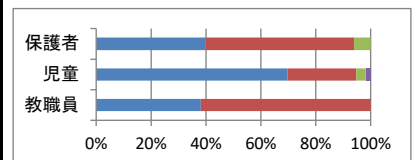
【学校から】[8]保護者と児童の肯定的な評価は昨年度よりも少し減少している。教職員の思いが十分伝わっていないようである。学級通信等でこれまで以上に保護者に思いを伝えていくとともに、子どもたち一人一人と向き合う時間の確保に努めていく。[9]児童の肯定的な評価は変わらないが、保護者の肯定的な評価が減少している。いじめや問題行動への対応としてはおおむね評価されていると考えられるが、保護者への説明や対応が十分でなかったと感じている。今後もいじめを許さない学校の姿勢をさらに子どもや保護者へ周知するとともに、いじめや生徒指導上の問題があったときに真摯に対応する組織作りを更に推進していく。[10]保護者の肯定的な評価が2%ほど減少している。今年度は臨時休業があったため、特に4、5月の1年生への支援が十分出来なかった。今後は校内での支援体制を強化し、これまで以上に組織的に取り組んでいく。

①子どもたちの身近な安全対策の充実

②最適な学習環境の整備

11 安全と事故防止

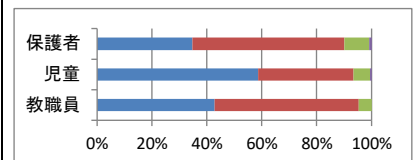
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。



【学校から】[11]保護者の肯定的な評価が3%程減少している。これは臨時休業の影響で、登校班の指導が遅れてしまったことや縦割り班の活動が十分できなかったことが考えられる。今後は、子どもたちに安全に登下校する指導をさらに取り組むとともに、防犯協会や安全協会、PTA等、家庭や地域と連携して児童の安全確保に努めていきたい。

12 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

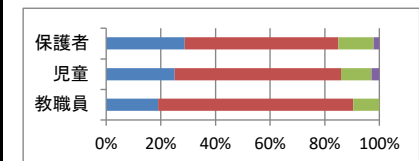


【学校から】[12]保護者の肯定的な評価が4%程減少しているのに対し、児童の肯定的な評価は2%程増加している。平日頃から学校主事を中心として施設の補修や樹木の剪定を行っていることで、児童が安全に学習したり遊んだり出来ているようだ。ただ、校舎の老朽化で要修繕の箇所がかなりあり、修繕が間に合わない状況のため、雨漏りや時計の故障等が見られることで、保護者の評価が良くないようだ。今後も毎月の安全点検をしっかりと行いとともに、できる限りの環境整備に努めていきたい。

③家庭・地域社会との連携強化

13 教育方針・目標の理解

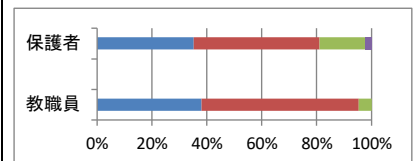
学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



【学校から】[13]ホームページや学校便り等で機会あるごとに教育方針・目標を伝えきたが、保護者の肯定的な評価が6%程減少している。これは臨時休業で4、5月に学校行事が出来なかったこと、PTA総会の中止など保護者に学校にきてもらうことがほとんど出来なかったことが考えられる。今後も安心メールと学校ホームページをうまく活用し、保護者へ学校の方針を知ってもらう努力を続けていきたい。[14]こちら、保護者の肯定的な評価が6%程減少している。新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者が学校に来にくくなったこと、学校行事がたくさん中止になったことが原因だと考えられる。このような状況下でも、今後はもっと学校から家庭や地域にホームページや学校便り等で情報を発信するとともに、家庭や地域との連携・協力する機会を増やすように努めていく。

14 家庭や地域との連携協力

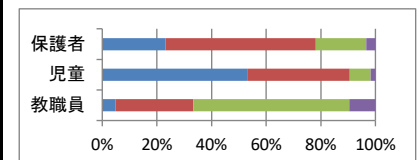
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



④本校の教育

15 情操豊かな教育の実践

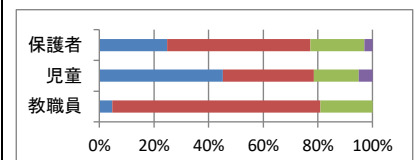
子どもたちは、「笑顔のある、心のもったあいさつ」ができていますか



【学校から】[15]児童の肯定的な評価の割合は4%程増加している一方で、教職員の肯定的な評価の割合は40%程減少している。臨時休業の影響で、基本的な生活習慣を十分に指導できないまま、学校をスタートさせたことや、マスクをしているため挨拶の声が届きにくいことなどが考えられる。評価をした4～6年生は挨拶は良くなっていると評価しているように、学校再開当初に比べて次第に出来るようになりつつあるので、今後も指導を徹底していきたい。[16]肯定的な評価の割合で、保護者は3%増加、教職員は6%減少している。昨年度、保護者、児童ともに否定的な評価が多くなったため、学習習慣を身に付けさせるよう家庭と連携を強化していった結果、保護者の評価が良くなったと考えられる。まだ教職員は十分であると感じていないので、家庭学習の習慣をさらに推進するとともに、タブレットを活用するなど家庭学習の工夫についても実践していきたい。[17]保護者の肯定的な評価の割合が4%程増加し、家庭でお手伝いをしている児童が増えている。臨時休業中家で過ごすことが多くなり、手伝う機会が増えたことが考えられる。一方、掃除に関しては教職員の肯定的な評価が15%程減少している。子どもたちが昨年度掃除に取り組む態度をしっかりと育成できたが、今年度は臨時休業の影響で掃除をうまく出来なくなっているようであった。しかし、指導の徹底を図っているので、今後は以前のような掃除の態度に戻っていくことを期待したい。

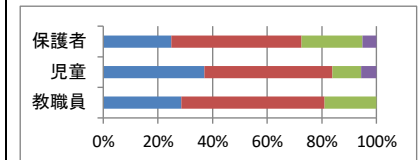
16 確かな学力の育成

子どもたちは、家庭学習ができていますか。



17 教育環境の充実

子どもたちは、掃除に熱心に取り組んでいると思いますか



来年度の具体的な取り組みについて

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、授業参観や学校行事が中止、縮減したため、保護者が児童の学校での様子を見る機会がかなり少なくなった。感染状況次第であるが、今後可能な限り保護者が児童の様子を見る機会を作るとともに、学校から家庭、地域への情報共有を図り、連携の強化に努めていきたい。
- 挨拶や掃除の定着については、児童と教職員の中で意識のずれが見られるので、目指す姿を具体化して児童に知らせるとともに、児童自身の自発的な態度を育成するよう特別活動の更なる充実に努めたい。
- 学校の方針を伝える際には、学校ホームページ、学校便り、紙文書、安心メールを効果的に活用し、保護者に迅速で正確に情報発信が出来るよう情報通信環境をさらに整備していく。
- 臨時休業があったため、例年よりも若干早寝、早起き、朝ごはん等の基本的な生活習慣が定着できていない児童が見られた。また、運動の機会が少なかつたため、肥満児の割合も増えている。今後は、睡眠時間の確保、栄養管理、適度な運動の機会を設けるよう、学校と家庭が連携して推進していきたい。
- いじめなどの問題行動があった際に真摯に対応しているが、保護者に十分思いが通じていない時があったので、今後はこれまで以上に生徒指導での組織的対応を図るとともに、保護者との連携を強化し同歩調で児童の健全育成に努めていきたい。
- 登下校の安全面に関しては、登校班の見直しを含めた登下校の在り方を保護者と考えていくとともに、保護者・地域に協力を求めて児童の安全確保に努めたい。
- 新型コロナウイルス感染症等に対応するために、これまで通り手洗い、マスク着用、消毒、換気の徹底、睡眠時間の確保、栄養管理等基本的な生活習慣の確立を図る。